

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-382-4689

年度	平成30年度		
施設名	江南区郷土資料館	所管部・課	江南区産業振興課
施設の設置目的	江南区の歴史資料、民俗資料その他資料を保存・公開することにより、市民の歴史及び文化に対する理解を深めるとともに、市民文化の向上に資する。		

当初予算(千円)	当初人員(人)	作成日	H30.6.27
歳入	45	正職員	0
歳出	3,835	非常勤	2
		修正日	
		評価日	R1.7.2

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標					H30結果
1	市民	入館者数の目標数達成	年間入館者数19,000人以上(単位:人)	17,839	16,766	20,834	19,000	21,052	過去3か年の実績数の平均(千人未満切り上げ)	江南区郷土史講座、収蔵品等を活用した企画展、昔語りの会 など	資料館主催事業の中でも、「亀田綿展」や「区民の愛蔵品展」等の恒例企画展の人気の年々高まっていること、区内小学生の当館での見学をサポートする「江南区郷土史学習支援事業」によるまとまった来館が入館者数増に寄与した。	A:達成(優)
2	市民	設置目的に合致したサービスの提供	小・中学校来館(出前)数 年11校以上(単位:校)	12	7	15	11	14	過去3か年の実績数の平均	江南区校長会等で事業紹介、区内小学校への社会見学サポートを実施	「江南区郷土史学習支援事業」による区内小学校の来校が目立った。また、区外や市外からの見学の需要もあった。	A:達成(優)
3	市民	子ども向け講座の充実	年間開催数3回以上(単位:回)	3	4	4	3	4	歴史・伝統の継承	夏休み等に体験教室(縄文土器づくり・火おこし等)を開催	夏休み、冬休み、春休みに小・中学生向けの体験学習を開催した。	B:達成
4	業務	他施設との連携	他施設との年間共同開催2件以上(単位:件)	2	3	3	2	2		新津美術館移動展、文化財センター企画展	新津美術館、文化財センターと連携し、展覧会・企画展を開催した。	B:達成
5	業務	安全確保体制の確立	資料館単独防災訓練年1回以上実施(単位:回)	-	1	1	1	1	資料館単独で防災訓練を実施	防災訓練の実施	資料館単独で机上訓練・避難経路確認等を実施。	B:達成
6	人材	スタッフの研修	資料館内研修会 月1回以上実施(単位:回/年間)	13	14	13	12	13	常設展示の解説等に役立てるため、研修会を実施	古文書勉強会・視察研修など	月1回の古文書勉強会による研修に加え、視察研修、ボランティアスタッフによる研究発表を実施した。	B:達成
7												
8												
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価(評価を踏まえた課題分析・方向性など)
「水と土のあゆみ」をテーマに、江南区の歴史・文化をより多くの市民に知っていただける施設を目指します。そのために市民の方が来館された際により知識を深められ、満足していただけるような資料館づくりを進めます。	より多くのお客様に来館いただき、また、満足していただくため、ご好評いただいている企画展を中心とした資料館主催事業を引き続き開催していきます。また、江南区の郷土史の継承やそれに伴う郷土への愛着の醸成の一助となるべく、入館者数の増加にも寄与した「江南区郷土史学習支援事業」を今後も推し進めて参ります。職員やボランティアについても、人数が限られている中、数多くの企画展やお客様への館内アナウンス等を行うにあたり、更に充実した研修を開催することで、一人ひとりの能力やサービスの資質を高め、よりお客様に満足いただける施設運営に努めて参ります。